

令和5年度 事業報告

1. 学校法人の概要

(1) 法人の名称および所在地

法人の名称	学校法人 成徳学園
事務所の所在地	札幌市中央区南 11 条西 8 丁目 2-47

(2) 理事(6名)・監事(2名)

区分	選任条項	氏名	常勤・非常勤	最新就任年月日
理事長	第6条1項	野村昌昭	常勤	令和6年1月31日
理事	第6条2項	細川正人	非常勤	令和5年6月8日
理事	第6条3項	浅香博文	非常勤	令和5年6月8日
理事	第6条3項	佐藤秀幸	非常勤	令和5年6月8日
理事	第6条2項	玉木克典	非常勤	令和3年6月8日
理事	第6条3項	市川茂春	非常勤	令和6年1月31日
監事	第7条1項	荒信幸	非常勤	令和3年6月8日
監事	第7条1項	高橋研人	非常勤	令和3年6月8日

(3) 評議員(12名)

選任条項	氏名	常勤・非常勤	最新就任年月日
第23条1項	野村昌昭	常勤	令和5年6月8日
第23条3項	浅香博文	非常勤	令和5年6月8日
第23条3項	佐藤秀幸	非常勤	令和5年6月8日
第23条3項	笹川信雄	非常勤	令和5年6月8日
第23条3項	中原明	非常勤	令和5年6月8日
第23条3項	上田強志	非常勤	令和5年6月8日
第23条3項	角谷毅	非常勤	令和5年6月8日
第23条3項	馬場伸哉	非常勤	令和5年6月8日
第23条3項	市川茂春	非常勤	令和5年6月8日
第23条1項	藤田留美	常勤	令和5年6月8日
第23条2項	長屋敦志	常勤	令和5年6月8日
第23条2項	小野千晴	常勤	令和5年6月8日

(4)教職員数(令和5年4月1日現在)

専任教員	専任職員	講師
12名	2名	63名

専任教職員
退職者3名
(令和5年10.31付1名、令和6.3.31付2名)

(5)入学定員及び学生数

学 科	入学定員	収容定員 (2学年)	学 生 数		退学者	休学者
			令和5年4月1日	令和6年3月31日		
介護 福祉科	80名	160名	1年 27名	1年 22名	3名	2名
			2年 27名	2年 26名	1名	0名
※ こども 福祉科	80名	160名	1年(保・幼) 10名	1年(保・幼) 10名	0名	0名
			1年(保) 5名	1年(保) 5名	0名	0名
			2年(保・幼) 9名	2年(保・幼) 9名	0名	0名
			2年(保) 12名	2年(保) 11名	1名	0名
合 計	160名	320名	90名	83名	5名	2名

※(保・幼)…保育士・幼稚園教諭コース/(保)…保育士コース

2. 事業の概要

(1)事業計画に基づく動き

1. 学校経営改善3ヶ年計画

①学生募集の基盤構築

対面型の広報に力を入れ、本校のアピールポイントを再確認しながら広報活動を実施した。オープンキャンパスに関しては、前年度と同形態の午前と午後の短時間で開催した。また、前年度に引き続き、特色を出した「できる」オープンキャンパスと「わかる」オープンキャンパスの2種類を実施。いずれも、個別対応に特化して、参加した高校生との個別面談時間を取るなど、高校生に寄り添う対応を行った。

②教育力・サポート力の強化

校外研修の参加及び両学科1・2年生の合同学習会の実施等をした。諸事情により、校内研修の実現には至らなかった。また、カリキュラム内容の精査・改編を進めて、学則変更を行った。教員の情報共有及び打ち合わせの場は、随時設定することにより、学校全体の動きを確認・検討を行った。

③日本語科の設置

令和6年4月開講を目指して、準備を進めていたが、令和5年11月1日に出入国在留管理庁より不適合であるとの結果を受ける。

④せいとくブランド構築

実習巡回や高校教員研修会等で、学校をアピールしてきた。

2. 教育力・サポート力の強化

①入学前教育(ゼロガク)の実施

昨年度よりも全体的に参加者が増えている。さらに1回以上の参加が約94%、平均参加率は約70%と高い数値となり、ゼロガク生への周知及び内容に満足のものだったと考えられる。この結果から入学前のモチベーションの維持、並びに早期退学防止、入学後オープンキャンパススタッフへの参加意欲の面で良好な結果に繋がったと考えられる。

	日にち	来校参加	昨年度同じ月の参加者
(第1回)	令和5年7月29日	3	2
(第2回)	令和5年8月19日	5	開催無し
(第3回)	令和5年9月23日	8	6
(第4回)	令和5年10月14日	9	5
(第5回)	令和5年11月11日	9	8
(第6回)	令和5年12月16日	10	8
(第7回)	令和6年1月27日	8	8
(第8回)	令和6年2月17日	9(オペレッタ鑑賞)	5
(第9回)	令和6年3月23日	15	9

②卒業後教育(プロガク)の実施

本校卒業生を対象に、経験年数を超えての交流を図り、不安や悩み事、疑問等を解決して、仕事へのモチベーションをアップするための研修。

- ・令和5年6月30日(土) 13:30～15:00 (参加者5名+こども2名)
「自分らしく働くとは。新人育成の工夫。」
新卒者・新年度配置換えの不安解消と人間関係。人が育つ伝えかた
- ・令和5年9月9日(土) 13:30～15:00 (参加者11名)
～ 学科合同研究 ～
◇こども関係 遊びの幅を広げる情報交換・意見交流
障害者・障害児の事例をもとに、関わりの理解を深める
◇介護関係 個別対応のアプローチと、介護技術の選択
- ・令和6年2月10日(土) 13:30～15:00 (参加者15名+発表者2名)
～ 学科合同の事例研究 ～ 「保育士・介護福祉士の仕事内容を振り返る」
仕事のやりがい再確認 職場研修や、業務内容の工夫を伝え、今の悩みを解決する。

発表者	・二階堂 正博(2010年3月保育福祉科卒業) 認定こども園屯田すずらん 園長 「保育理念と方針を職員で共有し達成するための、職員研修と業務改善」
	葛西 亮太さん(2013年3月介護福祉科卒業)グループホームゆうあい 「仕事のやりがい ～ 楽しく仕事をするために」

③スクールカウンセラー(委託)による相談体制の充実と連携

- ・スクールカウンセラー(臨床心理士)により、週に2回程度の定期的なカウンセリング体制をとった。発達に心配がある学生などは早期に対応し、適切な対応を図ることができた。
急を要する案件については、予定日以外にも対応することにより学生の悩みを早期に解決した。
- ・特に発達に心配があり、支援が必要な学生に対しては、実習先との連携に必要な情報の収集にあたり、スムーズな実習指導ができた。

④介護福祉士国家試験合格に向けての取り組み

在籍26名(日本人15名留学生11名)に対し国家試験受験するかしないかを選択させ、1名(日本人)は卒業を優先させたいとの申し出があり、受験を見送った。

- ・国家試験受験者25名(合格者24名、不合格者1名(留学生))
- ・授業「国家試験対策」38時間実施
- ・「国家試験受験対策模擬試験」を年3回実施
- ・「国家試験対策講座」令和5年12月21日～令和6年1月5日(6日間)
- ・「国家試験直前特別対策」令和6年1月22日～1月26日(5日間)

⑤教育力向上のための教員の校外研修の実施

- ・文部科学大臣認定「職業実践専門課程に係る研修会」
「心動かす価値が未来を変える～持続可能な組織・地域をつくるために～」
(令和5年8月1日) 2名参加
- ・公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会北海道ブロックミニ研修会
(令和5年6月7日) 1名参加
- ・公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会北海道ブロック研修会
「外国人留学生について」1名参加
(令和5年8月1日)
- ・北海道幼稚園教諭養成校協会研修委員会
「若手教員研修会」1名 オンライン参加
(令和5年9月9日)
- ・第65回 北海道私立専修学校各種学校教育研修大会
「社会の変革に対応した職業教育」
(令和5年9月11日～12日) 1名参加
- ・有限会社ホットラインワールド介護教員講習会 オンライン開催
(令和5年11月2日～令和6年4月14日) 1名参加
- ・文部科学大臣認定「職業実践専門課程に係る研修会」
「未来の北海道を創る～令和の働き方・学び方を考える」
(令和5年12月21日) 1名参加
- ・令和5年度 北専各連札幌支部現職教員新年研修会
グローバル社会における外国人との共生社会の実現
～互いを尊重し歩み寄る社会の実現～
(令和6年1月12日) 1名参加

⑥令和6年度以降のこども福祉科カリキュラムの編成

教育・保育現場の声を参考にカリキュラムを編成し、こども福祉科「保育士・幼稚園教諭コース」では、新たに『こども環境管理士2級』『幼児体育指導者2級』が取得可能となり、保育士コースでは北海道初となる『児童発達支援士』の資格取得を可能にした。

⑦授業アンケートの活用

課題となっていた回答率に関して、教科ごとのアンケートフォームを作り、授業の最後に教科担当から声をかけるなどして実施することにより、回答率の向上を図ることができた。アンケート結果は教科担当にフィードバックしながら授業の質の向上に努めたい。

⑦留学生向け語学サポート事業の実施

始業前の時間を利用して、日本語教員資格を持つ教員が語学授業を行った。(4月～10月)

3. 職業実践専門課程における各種委員会の開催

①教育課程編成委員会

専攻分野に関する企業・団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設やその他の教育課程の編成(授業内容・方法の改善・工夫等を含む)を行うための組織

(第1回) 令和5年7月19日 13:00~14:30 (第2回) 令和6年2月22日 10:00~11:30

②学校関係者評価委員会

学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

令和5年8月30日 13:00~14:30

4. 同窓会活動の推進

同窓会日程確定前に、コロナウィルス感染拡大防止のため中止を決定。

5. 介護福祉士および保育士養成科訓練生(高等技術専門学院)の委託受入事業

令和5年4月より、介護福祉士科に3名(受験者3名)の訓練生を受け入れた。

6. 地域住民との共生

・オペレッタ・・・令和6年2月16日(金)・17日(土)

人数制限なく実施。

16日(金)は保育園2園とデイサービスのお子さん、在校生・講師を招き開催。

17日(土)は一般来場者・保護者・ゼロガク生を招き114名の方に観ていただく事ができた。

・サマーフェスティバル in 曙・・・令和5年7月30日(日)

4年振りとなる開催で、4名の学生がボランティアとして参加し、フェスティバルを盛り上げていた。

7. 校舎管理に関する修繕工事及び備品購入など

①校舎内一部清掃業務委託…クリーンコーポレーション

②体育館非常扉の改修

③校舎内電話機更新

④掃除機の分解掃除(8月・12月・3月)

⑤介護実習室用洗濯機更新

⑥消火器等計画的更新

⑦校舎内照明器具 LED 化の計画的な更新

⑧屋上排水溝の点検・清掃

⑨床暖房運転は、2時間ごとに室温確認にて操作。

⑩校舎前除雪は、職員で行うことができた。体育館横駐車場は、業者に委託。(12月~3月)

⑪清掃関係器具及び清掃用品の計画的な更新を行った。

8. 経営の安定化

経費支出の削減を目的に、費用発生時の効果と必要性を吟味した。

9. 留学生受入事業

「中華人民共和国からの外国人留学生受入プログラム」(共同:西野学園・栗原学園)

令和5年度に第4期生34名入国(うち18名が令和6年4月に本校入学)。

10. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から、【5類感染症】移行に伴い、本校での感染拡大防止策を見直した。

①第107回入学式 新入生と専任教員、保護者各家庭2名のみ出席

5類感染症移行前のため、規模縮小時間短縮で実施。

②5月8日以降マスク着用は、任意としている。ただし、授業の内容によりマスク着用を指示することがある。また、実習開始1週間前からは、マスク着用し感染予防に努めた。

- ③教室内に加湿機能付き空気清浄機の配置、一定時間での教室換気を実施。
- ④トイレ内ペーパータオルの設置。
- ⑤共用部分の消毒の徹底。
- ⑥第 107 回卒業式は通常通り実施。

(2) 教育の概要

授業日数・授業時間数

学科・学年	介護福祉科		こども福祉科			
	1年	2年	保育士・幼稚園教諭 コース		保育士コース	
			1年	2年	1年	2年
授業日数	198 日	196 日	197 日	192 日	197 日	189 日
授業回数 (行事除く)	571 回	564 回	564 回	553 回	561 回	527 回

(3) 就職関係

① 求人状況

令和5年度 求人合計 851件(内訳:北海道内 598件/北海道外 253件)

	種 別	道内求人		道外求人	
		施設数	求人数(人)	施設数	求人数(人)
1	特別養護老人ホーム	54	139	29	124
2	介護老人保健施設	20	49	8	19
3	病院・医療法人	22	90	21	45
4	社会福祉法人	42	225	5	32
5	高齢者その他	40	110	31	220
6	保 育 所	113	310	136	765
7	幼 稚 園	30	88	13	41
8	認定こども園	118	300	-	-
9	児童養護施設	13	47	2	6
10	障がい児施設	24	55	2	6
11	託 児 所	39	103	1	3
12	障がい者支援施設 (身体障害者)	6	11	-	-
13	障がい者支援施設 (知的障害者)	29	99	3	5
14	公務員・その他	43	139	1	10
15	一般企業	5	37	1	10
	合 計	598	1, 802	253	1, 286

② 就職実績

学 科	クラス	在籍数	就職を依頼 しない者	就 職 希望者	就 職 決定者	就職率
介護福祉科	2KA	26名	2名	24名	24名	100%
こども福祉科	2SA	9名	0名	9名	9名	100%
	2SB	11名	0名	11名	11名	100%
合 計		46名	2名	44名	44名	100%

(4) 学生募集関係

①令和5年度の応募者数(令和6年4月入学生)

	応募者数			実入学者数		
	介護福祉科	こども福祉科		介護福祉科	こども福祉科	
		保・幼	保		保・幼	保
推薦入試	1名	0名	0名	1名	0名	0名
一般入試	0名	0名	0名	0名	0名	0名
A O 入試	4名	6名	1名	4名	6名	1名
指定校推薦入試	3名	4名	0名	3名	4名	0名
高等技術専門学院 訓練生	0名	—	2名	0名	—	2名
留学生	28名	—	—	26名	—	—
復学生				2名		
原級留置				1名		
合計	36名	10名	3名	37名	10名	3名

※保・幼…保育士・幼稚園教諭コース/保…保育士コース
 ※留学生応募者数の内、ネパール留学生2名は入学を辞退

②募集活動 ※()内は令和5年度実績

ポストコロナに伴い進学相談会を増やし入学者増を目指した。
 ホームページ改修を行い、募集活動の基盤を整えた。

ア)進学相談会(25回)・校内ガイダンス(50回)

北海道内の市町村にて、会場あるいは高校内体育館でブースを設けて、高校生に学校の説明をする。新型コロナウイルス感染拡大防止の動きが収まり、参加が増えた。昨年度より、進学相談会4回増。校内ガイダンス25回増。

イ)進学雑誌・ホームページ

進学雑誌は、業者が発行して高校生に配布する媒体(インターネット連動)に参画。今年度は日本ドリコム進学情報誌に新規参画した。
 ホームページを12月に改修。プロポイント、各学科の特色を元に業者に制作を依頼。

ウ)オープンキャンパス(27回)

参加者が介護・保育の体験を行うことで本校入学に結び付ける企画。前年度行ったロングオープンキャンパスを参加者の動きが活発になる5、6、7、8、3月で実施。他の日は午前午後に分かれ体験を行い、個別相談重視で行った。オープンキャンパス総参加者は保育82名(前年比+7)、介護49名(前年比-19)。オープンキャンパスから出願した率(歩留率)は保育21%、介護47%と課題が残った。

エ)職業説明会・なるには説明会(28校)

依頼を受けた道内の高校に訪問して、高校1~3年生(一部中学生参加)を対象に、「介護分野」「保育分野」等の職業についてあるいは職業に就くまでのルートを解説する。昨年度より9校増加。

オ)学校見学(中学生・高校生・日本語学校生) (24校 144人)

依頼を受けた道内の中学校・高校より生徒が来校。キャリア教育の一環として模擬授業等を通して、進路選択についてより具体的なイメージを持つためのもの。ポストコロナに伴い昨年度より10校増。11名増。

カ)高校教員研修会(10校)

高等学校教員を対象に、奨学金・介護・保育分野等の説明を実施した。

月日	会場(高等学校等)	参加者	月日	会場(高等学校等)	参加者
10/13	札幌南陵高等学校 (保護者7名)	28	12/5	網走桂陽高校	8
10/19	名寄高等学校 (名寄産業合同)	4	2/16	北見工業高校	16
10/23	羽幌高等学校	15	3/30	網走南ヶ丘高等学校 (定時制)	5
10/25	利尻高等学校	23	2/2	枝幸高等学校	13
11/20	豊富高等学校	10	3/19	雄武高等学校	11